

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	施設や法人の置かれている状況や運営に関する情報が行きわたらず、ただ漠然と仕事をしていたり、不満の原因になっている。	職員一人ひとりが社会福祉法人、介護施設についての存在意義に関して理解を深めそのうえで法人の理念や運営状況に対しどのような働きをするべきか考える事ができる。	社会福祉法人と株式会社の違いや社会に対する役割などを職場内研修に盛り込み、その理解を深めたうえで、法人や施設の運営状況を各職員に伝達する仕組みを構築する	6ヶ月
2		認知症のある利用者に対し、訴えに向き合わず、関わりが希薄であったり、薬物依存的な発想に陥りがちである。	利用者一人一人の対応について、真摯に向き合い、対応方法について深掘りして考えられる職員を育成していく。	非薬物的介入について方法論を確立し、個々の利用者に対して適切な対応方法を考える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。